令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(1) 幼児教育の充実	シート番号	1
		SDGs目標番号	3, 4, 10, 11, 16
第3期計画基本目標	1 未来を生き抜く力の育成	地教行法21条中項番号	1, 4, 5, 7, 9

事業の目的	子どもの育ちが変化する中、未来を生き抜く子どもたちを育成するために、幼児一人ひとりに対応する指導の充実や教育施設の整備、教職員の資質の向上など、教育環境整備を推進する。
事業内容	教育内容の充実、教育環境の向上、教職員の資質向上
事業の対象	就学前幼児及びその保護者、幼稚園教職員

事業コスト	区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	(千円)	77,860	61,109	65,920
		うち一般財源 (千円)	61,662	53,544	55,883

事業実績・成果	担当	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	幼	園児数	人	88	79	68
	学	加配職員配置	人	7	4	4
	幼	預かり保育人数	人	62	58	50
	学	預かり職員配置	人	9	8	8
	幼	実践的防災教育研究	園	2	2	2
	学	一般備品の購入	千円	3,125	1,484	459
	学	図書備品の購入	千円/冊	229/216	198/124	202/113
	幼	ペップトーク実践	園	2	2	2
	＊【ペップトーク実践】：子どもたちに「元気・活気・勇気」を与えるポジティブな言葉を伝え、やる気や自信を引き出し、前向きな行動を促すことで、幼児の自己肯定感を高めるとともに、主体性や社会性を育む取り組み。				
	幼	自己評価と関係者評価の実施	園	2	2	2
	学	私立幼稚園への施設型給付費	千円/人	10,625/14	10,329/13	6,731/11
	図	子どもの読書推進連絡会議（第5次計画策定会議含む）	回	1	1	1(書面開催)
	図	ブックスタート事業	人	102	75	70
	図	読書推進事業　(幼児)「おはなしおばさん」	人/回	96/12	53/10	42/9
		(乳幼児)「まつぴよおはなし会」	人/回	84/12	92/12	93/11
	歴	藍染め体験(町立幼稚園)	人/園	49/2	40/2	43/2
	幼	広報活動(HP更新等)	回/園	169//2	115/2	80/2
	幼	キッズナビ支援員配置	園	2	2	2
	＊【キッズナビ支援員】：子どもの行動観察や教職員・保護者からの相談を通じ、一人一人の発達に合わせた課題解決に向けた支援やアドバイスを行う役割を担う支援員。				
	幼	運動遊び	園	2	2	2

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	ペップトーク実践では、昨年度からは教師が中心となって実践を進め、年1回の2園合同研修で学びを深めている。継続的な取り組みにより、幼児の自己肯定感や安心感、挑戦する意欲、粘り強さ、友達と支え合う姿勢の育成につながっている。資料館では、幼稚園との連携した藍染体験の継続実施を通じて、子どもたちが伝統文化に触れる機会を広げ、地域文化への親しみと持続可能な社会づくりに向けた意識を育む。 図書館の親子で楽しめる読み聞かせ行事は、乳幼児やその保護者の読書推進に寄与している。今後も多くの人に参加してもらうための工夫をしていく。

事業の方向性		評価委員会意見	
	□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(2) 幼児教育の連携強化	シート番号	2
		SDGs目標番号	4, 17
第3期計画 基本目標	1 未来を生き抜く力の育成	地教行法21条 中項番号	1, 4, 5, 7, 9

事業の目的	保護者や地域住民とふれあう体験活動を通じ、世代を超えて人とかかわる力の育成、小学入学時の環境等の変化や戸惑い・不安から起こる小1プロブレム回避のため、教職員間が連携し、連続性のある教育を推進する。
事業内容	幼保小の連携、合同研修、地域・関係団体ボランティアの活用
事業の対象	就学前幼児及びその保護者、幼保小の教職員

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	1,542	8,494	9,167
	内一般財源 (千円)	1,133	5,343	5,403

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	幼		園外講師活用事業(人形劇・移動動物園等)	回	11	12	16
	幼		ボランティア活用事業(音楽コンサート等)	回	13	16	17
	幼		家庭・地域への幼児教育支援(子育て相談)	園	2	2	2
	幼		交流保育	回	16	26	27
	幼		アプローチ・カリキュラム、スタート・カリキュラム	園	2	2	2
	＊【スタートカリキュラム】:小学校に入学した1年生が、幼児期の「遊びを中心とした学び」から、小学校での「教科を中心とした学び」へ無理なく移行できるように実施される教育計画。						
	＊【アプローチカリキュラム】:幼児教育施設（幼稚園・保育園・こども園等）から小学校教育への円滑な接続を目的とした、主に6歳児を対象に展開される教育・指導計画。						
	社		コミュニティスクール	千円	1,059	1,401	1,015
	＊【コミュニティスクール】:学校運営協議会。学校と保護者、地域住民などが話し合いの場を持ち共に協力して学校運営に取り組む仕組み。						
	学		キッズフェスタ	千円	121	168	155
	学		幼小連携指導員配置(小学校)	人	ー	2	2

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	■ Ⓐ十分寄与している	□ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	幼稚園活動では、外部講師や地域ボランティアを活用した事業を通じて本物の文化や自然に触れる多様な体験を重ね、豊かな感性や命を大切にする心を育むとともに、地域の人への親しみや信頼感の芽生えなどにつながっている。徳島県の「学びのかけ橋」プロジェクトでは、校種や施設類型を越えた関係を構築することができ、園と校が対等な立場で教育内容を語り合える場が定着し、幼児教育の連携強化を図れた。コミュニティ・スクールにおいても、地域の力を借りながら、幼稚園～中学校まで地域の子ども達の成長を見守っている。キッズフェスタは、マツシゲート学園祭との同時開催や新たにスタンプラリーを実施するなどの効果により400人以上の来場があった。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(3) 道徳・人権・いのちの教育の充実	シート番号	3
		SDGs目標番号	1, 2, 4, 5, 10, 16
第3期計画 基本目標	1 未来を生き抜く力の育成	地教行法21条 中項番号	5, 9

事業の目的	すべての子どもが生命の尊厳を知り、自他への敬愛と協力とを重んじ、公共の精神を持つことができるよう、道徳・人権教育等を推進する。
事 業 内 容	道徳・人権・いのちの教育の推進、人権について考える機会の充実、地域に根ざしたボランティア教育の推進
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事 業 費 (千円)	2,832	3,383	2,776
	内一般財源 (千円)	2,423	3,200	2,706

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	幼	※	実践的防災教育研究	園	2	2	2
	幼		生命を大切にする気持ちを養う体験	園	2	2	2
	学		修学旅行(平和学習)補助	千円/人	1,840/109	1,960/122	1,740/114
	社		松茂町人権の集い	人	162	144	98
	学		ボランティア活動(海岸清掃等)	園・校	幼・小・中	幼・小・中	幼・小・中
	社		ゆめ・ミライ塾(講演会)	回	6	6	6

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	職員研修を通して教職員の豊かな人権感覚を育みつつ、子どもたちと共に生命の尊さに触れ、愛情や信頼感を高めながら、幼少期からの豊かな感性の育成に取り組んでいる。 また、中学生の修学旅行で平和学習を行うと共に、ゆめ・ミライ塾の講演会などを通して多様な経歴を持つ大人たちに触れる機会を設け、生命の尊厳や優れた人権感覚と、自他への敬愛の心を持った人材育成に努めている。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(4) いじめ防止と不登校の予防的対応の推進	シート番号	4
		SDGs目標番号	1, 3, 4, 16, 17
第3期計画 基本目標	1 未来を生き抜く力の育成	地教行法21条 中項番号	1, 9, 12, 18

事業の目的	すべての児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、「松茂町いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめの未然防止及び早期発見への取り組みを推進すると共に、不登校児童生徒やその保護者に対するケアの充実を図る。
事業内容	相談活動の充実、関係機関の連携強化、不登校児童生徒への対応、「松茂町いじめ防止基本方針」の推進
事業の対象	小学生、中学生

事業コスト

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	(千円)	10,100	8,098	9,548
内一般財源	(千円)	10,100	8,098	9,250

事業実績・成果

担当	再掲	名称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学		学校教育相談員設置(松茂中)	人	1	1	1
学		校内教育支援センター支援員配置(松茂中)	人	―	―	1
学		子どもと親の相談員配置(喜来小)	人	1	1	1
学		Q－Uテスト実施	人/回	2,170/2	2,087/1～2	1,889/2
		＊【Q-Uテスト】:学校生活における児童生徒一人一人の意欲や満足度、学級集団の状態などを調べるアンケート式心理テスト。				
学		教育委員会相談件数	件	18	18	8
学		適応指導教室設置(指導員数)	人	2	2	2
学		生徒指導についての連絡会議	回	21	22	22
社		青少年健全育成非行防止決起大会	人/回	131/1	124/1	113/1

事業の評価

必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	子ども達の心のケアのため「適応指導教室」の設置や「子どもと親の相談員」、「学校教育相談員」の配置を継続するとともに、県の補助金を活用し、新たに不登校の兆候が見られる児童生徒が学校で過ごせるよう相談支援を行う校内教育支援センター支援員の配置により子ども達の心のケアの充実を図っている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを通じ福祉部局とも連携を図り、それぞれの環境に応じて担当課と連携するなどし、子どもだけでなく家庭全体への支援も含め、個別に対応している。 非行防止決起大会では、青少年の自立心を高揚することができた。

事業の方向性	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(5) キャリア教育の充実	シート番号	5
		SDGs目標番号	4，8
第3期計画 基本目標	1 未来を生き抜く力の育成	地教行法21条 中項番号	5

事業の目的	「学びたい」「働きたい」という意欲を高めると共に、将来社会的・職業的に自立し、自分の生き方を実現することができる力を身につけるよう、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。
事業内容	キャリア教育の推進、進路指導の充実
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生、教育実習生

事業コスト

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	(千円)	2,951	3,277	2,339
内一般財源	(千円)	1,767	2,871	2,243

事業実績・成果

担当	再掲	名称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
図		1日図書館員	人/回	4/1	3/1	3/1
全		職業体験受け入れ　小学生	人/施設	4/1	4/1	4/1
		中学生	人/施設	－	0	0
		大学生(教育実習・資料館実習)	人/施設	18/6	14/4	17/6
学		進路指導費補助金	千円	450	450	450
学		ｷｬﾘｱﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ「ゆめ・ミライ実現ノート」配付	冊	104	102	87
		＊【キャリアパスポート「ゆめ・未来実現ノート」】：児童・生徒が9年間の自らの学びや活動を記録し、振り返りを通じて自己理解を深め、将来の目標実現へ向けて行動することを支えるノート。				
社	※	コミュニティスクール	円	1,058	1,401	1,015
社	※	ゆめ・ミライ塾（講演会）	回	6	6	6
学		国・県・郡研究指定校受託	園・校	2校	1園・1校	－

事業の評価

必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
■ Ⓐ十分寄与している	□ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
■ Ⓐ十分できている	□ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	A
判定説明及び考察	コミュニティ・スクールにより学校と地域が連携して子どもたちを育てるための積極的な活動を行っており、学校支援活動が積極的に行われた。また「ゆめ・ミライ塾」を全校で行っている。 一日図書館員や職業体験を通じて、様々な仕事があって社会が成り立っていることや働くことの楽しさを感じていただけたと捉えている。一日図書館員は応募が少ないため、R8は実施時期を変える。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(1) 確かな学力の定着・向上	シート番号	6
		SDGs目標番号	1，4
第3期計画 基本目標	2 確かな学力の育成	地教行法21条 中項番号	4，5，7

事業の目的	子どもたちの可能性をより大きなものにするために、さらなる学力定着・向上に向けた取り組みを推進し、「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指した教育を実践する。
事業内容	学力調査結果の活用、学習指導要領に基づく学校教育の推進、「確かな学力」の定着、児童生徒の読書活動の充実
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生

事業コスト	区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	(千円)	33,823	42,500	40,232
		内一般財源 (千円)	31,001	38,716	29,474

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	学		小学生就学援助費支給	千円/人	10,364/109	9,208/96	6,116/82
			※1人当たりに換算した平均支給額	千円	95	96	75
	学		中学生就学援助費支給	千円/人	10,032/66	9,895/67	8,547/68
			※1人当たりに換算した平均支給額	千円	152	148	126
	学		小学校特別支援教育就学奨励費支給	千円/人	392/9	316/7	350/10
			※1人当たりに換算した平均支給額	千円	44	45	35
	学		中学校特別支援教育就学奨励費支給	千円/人	218/2	509/6	365/7
			※1人当たりに換算した平均支給額	千円	109	85	52
	図		幼稚園児・児童・生徒等図書館見学受入れ	回	2	2	2
	学		特別支援指導員配置	人	3	4	4
	学	※	日本語講師の配置　※(　)は外国人児童生徒数	人	2 (2)	1 (1)	3 (3)
	学		教育支援委員会開催	回	1	1	1
	図	※	子どもの読書推進連絡会議(第5次計画策定会議含む)	回	1	1	1(書面開催)
	学	※	学校図書備品購入　幼稚園	千円/冊	289/216	198/124	202/113
			小学校	千円/冊	937/589	956/438	839/398
			中学校	千円/冊	598/267	596/230	577/99
			合　計	千円/冊	1,824/1,072	1,750/792	1,618/610
	幼	※	キッズナビ支援員配置	園	2	2	2
	学	※	幼小連携指導員配置(小学校)	人	ー	2	2

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	■ Ⓐ十分寄与している	□ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	特に支援を要する子ども達が増加傾向にあることから、幼少期からの指導の充実を図るため、幼稚園にキッズナビ支援員を配置し、小中学校には県教委の教員配置に加えた防衛省の交付金を活用し特別支援指導員を配置した。また、幼稚園から小学校への進学は環境が大きく変化すると共に学びのスタイルが大きく変化するため、スムーズに学校生活に慣れ学習に取り組めるよう防衛省の交付金を活用し幼小連携指導員を各小学校に配置した。家庭の負担軽減に資するため就学援助費を支給した。図書館見学が図書館を利用するきっかけとなる児童もいる。本に親しんでもらうことで更なる読書活動の推進を図っていきたい。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(2) 教育内容の充実	シート番号	7
		SDGs目標番号	4, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 16
第3期計画基本目標	2 確かな学力の育成	地教行法21条中項番号	3, 4, 5, 7

事業の目的	グローバル化やICTの発達等、社会の変化が加速度的に激しくなっている中、子どもたちが未来を生き抜くための多様な力を身につけるため、教科学習以外の多岐にわたる教育を提供する。
事業内容	情報教育の充実、安全教育の充実、国際理解教育の充実、外国語教育の推進、研究指定校の推進、特別支援教育の充実、「相談支援ファイル」の活用、通級指導教室の充実、相談支援体制の充実、特別支援教育への理解促進、海外帰国・外国人児童生徒への支援
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	46,783	46,193	158,207
	内一般財源 (千円)	30,530	40,438	74,986

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	学		児童生徒派遣費補助金	千円	3,439	3,144	3,511
	学	※	進路指導費補助金	千円	450	450	450
	学	※	修学旅行補助金	千円/人	1,840/109	1,960/122	1,740/114
	学		準拠教材購入	千円	1,095	0	1,264
	学		社会科副読本印刷(作成に係る補助金含む)	千円	606	0	0
	学	※	国・県・郡研究指定校受託	園・校	2校	1園・1校	－
	社		幼稚園・小学校英語指導講師配置	人	2	2	2
	学		中学校英語指導講師配置	人	1	1	1
	学		通級指導教室設置	校	1	1	1
	学	※	教育支援委員会開催	回	1	1	1
	学	※	特別支援指導員配置	人	3	4	4
	学	※	日本語講師の配置　※(　)は外国人児童生徒数	人	2 (2)	1 (1)	3 (3)
	学		教材備品の整備　小学校	千円	4,396	4,205	38,035
			中学校	千円	4,320	3,152	23,851
			うちICT教育環境整備　小学校	千円	3,868	3,152	37,706
			中学校	千円	3,095	3,152	23,217
	学		特別支援教育地域連携協議会の開催	回	1	0	0
	学		STEAM教育の実践	千円	1,881	1,881	1,881

＊ 【STEAM教育】: Science（科学）・Technology（技術）・Engineering（工学）・Art（芸術）・Mathematics（数学）の5つの分野を統合的に学び、創造性と問題解決能力を養う教科横断的な教育。

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	■ Ⓐ十分寄与している	□ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	STEAM教育は、令和3年度から町と学校、教育委員会が三位一体となって推進しており、実社会で必要な教科横断的な力を育成するため教員への研修やプログラミングや環境学習をICTを活用し特色ある授業を提供している。GIGAスクール構想に伴い令和2年度に配備した1人1台端末を更新し、機能向上及び利用率向上を図った。また、特別支援指導員や日本語支援員を配置し、支援体制を強化している。

事業の方向性	評価委員会意見	
■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(3) 教育施設の整備	シート番号	8
		SDGs目標番号	4, 9, 10, 11
第3期計画 基本目標	2 確かな学力の育成	地教行法21条 中項番号	5

事業の目的	すべての園児・児童・生徒が安全に学校生活を送るとともに、情報化社会に対応できる能力を養うための教育を受けることができる環境整備を推進する。
事 業 内 容	ユニバーサルデザインを取り入れた学校施設の整備、学校設備の環境整備
事業の対象	幼稚園、小学校、中学校

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	37,638	94,124	197,717
	内一般財源 (千円)	23,015	69,534	79,470

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	学		施設整備費				
			幼稚園	千円	5,111	64,107	6,618
			小学校	千円	12,754	11,504	101,292
			中学校	千円	3,635	7,685	26,265
			合　計	千円	21,501	83,296	**134,175**
	学		一般備品整備費				
			幼稚園	千円	3,125	1,484	459
			小学校	千円	4,782	1,054	1,118
			中学校	千円	716	1,987	1,042
			合　計	千円	8,624	4,525	**2,619**
	学	※	ICT教育環境整備				
		※	小学校	千円	4,418	3,152	37,706
		※	中学校	千円	3,095	3,152	23,217
			合　計	千円	7,513	6,304	**60,923**

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	園児・児童・生徒の安全安心な学校生活のため、学校施設の改修工事や修繕、備品購入等を行い、良好な教育環境の保持に努めている。 令和7年度から令和8年度にかけ喜来小学校の老朽化したダクト式空調を個別空調に更新する工事を実施しているほか避難施設の機能向上を図るためトイレの洋式化を実施した。今後も国等の補助金等を活用し、計画的に耐用年数を超える校舎空調設備の改修やトイレの洋式化を行う。また、小・中学校体育館の熱中症対策及び避難所機能向上のため令和8年度末までに空調設備を整備し、断熱工事等についても計画的に実施していく。

事業の方向性	評価委員会意見	
■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(4) 教職員の資質向上	シート番号	9
		SDGs目標番号	4, 5, 8, 10, 16, 17
第3期計画 基本目標	2 確かな学力の育成	地教行法21条 中項番号	5

事業の目的	子どもの心身の発達に関わり、その人格形成に大きな影響を与える存在である教職員として資質向上するために、研修や他者評価を行う。
事業内容	教職員の適切な配置、学習指導体制の充実、幼稚園・小学校・中学校の連携強化と教職員の指導力向上、人権侵害の防止と早期対応、情報管理体制の強化、学校評価の実施、開かれた教育委員会活動の推進
事業の対象	幼稚園、小学校、中学校

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	8,458	11,663	13,239
	内一般財源 (千円)	6,458	11,663	6,926

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	学	※	特別支援指導員配置	人	4	3	4
	学 幼		職員研修	回	34	35	56
	学		松茂町学校教育研究会補助金	千円	135	135	275
	幼	※	自己評価と関係者評価の実施	園	2	2	2
	学		チーム担任制	校	1	1	1

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少	
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない	
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	

総合評価	B
判定説明及び考察	幼稚園教職員研修及び学校教職員研修は、研修機会を確保することにより、教職員としての資質向上に努めている。 令和7年度は松茂町学校教育研究会が4年に一度作成している社会科副読本の編集年度となり、編集に係る費用等を補助した。 また令和2年度から実施している中学校のチーム担任制は、全教職員が学級担任として生徒の育成にあたるため、互いに刺激となり助け合うことにより、教職員の資質向上に繋がっている。

事業の方向性	評価委員会意見	
■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(1) 健全な体の育成	シート番号	10
		SDGs目標番号	3，4，5
第3期計画基本目標	3 健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条中項番号	9，11

事業の目的	食生活の見直しと運動習慣の定着等の子どもの健康課題に加え、ストレスによる心身の不調、アレルギー疾患等への対応と薬物乱用防止など、健全な身体の育成に計画的に取り組むとともに、保護者を含む地域への啓発活動も行う。
事業内容	小児肥満・生活習慣病の予防、健康診断の実施、いのちの教育の推進、薬物乱用防止教室の推進、体力調査結果の活用、運動習慣の定着と体力向上、部活動の活性化
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生、保護者

事業コスト

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	（千円）	7,628	9,725	9,973
内一般財源	（千円）	5,392	6,745	6,773

事業実績・成果

担当	再掲	名称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学		学校保健委員会開催	回	1	1	1
給		給食試食会	回	0	2	1
給		食物アレルギーのある園児・児童・生徒の保護者への面談	回	19	21	25
給		アレルギー検討委員会	回	1	1	1
学		健康診断 内科	人	1,259	1,205	1,141
		耳鼻科	人	360	342	344
		歯科	人	1,263	1,201	1,144
		眼科	人	369	372	339
		心電図	人	347	349	319
		尿検査	人	1,231	1,177	1,121
社		体育館無料開放(土曜)	日	42	43	43
社		松茂町少年駅伝大会(出場選手数)	人/回	34/1	29/1	39/1
社		松茂ネクストアスリートプロジェクト	人/回	209/1	202/1	220/1
社		松茂町競技力向上サポート事業	h/年	―	360	360
学		中学校部活動講師委嘱	人	3	3	3
学		学校環境衛生検査実施	園・校	6	6	6
学		体育指導員の配置	人	1	1	1
学		部活動指導員配置	人	3	3	3
全		新型コロナ感染症対策	千円	17	17	17

事業の評価

必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	学校保健委員会において、定期健康診断や生活習慣アンケートの結果を参考にグループ協議を行い、様々な立場の委員からたくさんの意見が出され、本町の健康づくり推進のための充実した意見交換が実施できた。また食物アレルギーのある園児,児童・生徒の情報共有と適切な対応のため、保護者への面談を実施し、子どもたちの健康な学校生活の確保に努めた。 ネクストアスリートプロジェクト、競技力向上サポート事業等、体力づくりや陸上競技指導に向けた取り組みが進んでいる。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(2) 食育の推進	シート番号	11
		SDGs目標番号	2, 3, 4, 12
第3期計画 基本目標	3 健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条 中項番号	9, 11

事業の目的	将来にわたって健康に過ごすための自己管理能力と、望ましい食習慣を身につけることができるよう「徳島県学校食育指導プランⅡ」に基づき食育を推進するとともに、安全安心な給食の提供と地産地消を推進する。
事業内容	食育の推進、学校給食の充実
事業の対象	幼稚園児、小学生、中学生、保護者

事業コスト	区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	(千円)	151,322	157,599	162,257
		内一般財源 (千円)	82,082	83,906	127,840

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	給		学校食育推進委員会	回	1	2	2
	給		学校給食献立物資選定委員会	回	1	2	1
	給		給食実施	食数/日	246,919/200	236,089/198	225,225/198
	給	※	給食試食会	回	0	2	1
	給		学校給食費	千円	79,969	77,028	79,590
	給		調理加工費	千円	71,353	80,571	82,667
	給		給食費　幼稚園・小学校	円	270	270	270
			中学校	円	305	305	305
			給食センター	円	325	325	325
	給		弁当の日	回	0	0	0
	給		給食献立コンクール(応募者数)	人	145	147	337
	給		リクエスト給食	食	6	7	10
	給		幼稚園・小学生の給食センター見学受入れ	回	0	0	0
	給		地産地消の推進	%	52.3	58.5	－
	給		行事食の推進	日	11	9	6
	給		給食センター施設設備改修	千円	0	869	0
	給		食育についての広報(給食だより等)	回	22	22	19
	給		調理員の健康管理(検便・ノロウィルス検査)	回			30

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	リクエスト給食や行事食により、子どもたちが食への興味や関心を持って自ら進んで食べようとする気持ちを育むなど、食育の推進に努めた。リクエスト給食:「きなこあげパン」「ハヤシライス」「フルーツポンチ」など10品。行事食:4月「入学・入園　お祝いクレープ」9月「防災の日　救給カレー」など6品。給食献立コンクールの継続的な活動で、地元の食材を使うレシピを採用し、さつまいもやレンコン、大根を積極的に使うことで地産地消を図っている。　特賞としてれんこんを使った「松茂のカレーソースパスタ」など計6品が受賞。また、物資選定委員会を開催することで、適切な供給できる給食物資の購入先について協議及びその後の契約、安定的な納品の実施をしている。学校給食衛生管理基準に基づき検便や検食、点検を行い安全安心な給食提供に努めている。

事業の方向性	評価委員会意見	
□　さらに重点化する ■　現状のまま継続する □　見直しのうえ継続する □　事業の縮小を検討する □　休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

松茂町教育委員会

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(3) スポーツ活動の活性化	シート番号	12
		SDGs目標番号	3, 4, 11
第3期計画 基本目標	3 健全な体の育成と体力づくりの推進	地教行法21条 中項番号	9, 13

事業の目的	町民それぞれが年齢、趣味、体力に応じた生涯スポーツ活動を行うことができる環境づくりを目的とする。
事 業 内 容	スポーツ教室の開催、スポーツ団体への支援、多世代参加型スポーツ活動の推進、ニュースポーツの普及、各種競技大会の支援、健康増進のためのスポーツレクリエーションの推進、施設の計画的な改修、指導者・ボランティアの育成
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事 業 費	(千円)	39,782	18,420	55,993
	内一般財源	(千円)	31,782	15,536	26,614

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		水泳教室	人/回	113/5	61/2	75/2
	社		スポーツ祭(のべ人数)	人/回	184/1	230/1	200/1
	社	※	松茂町少年駅伝大会(出場選手数)	人/回	34/1	29/1	39/1
	社		スポーツ協会　補助金	千円	1,265	1,365	1,240
			加入状況	人/部	303/10	289/10	289/10
	社		スポーツクラブ　補助金	千円	195	195	195
			加入状況	人/部	80/5	77/5	82/5
	社		スポーツ少年団　補助金	千円	324	324	324
			加入状況(団員/指導者/クラブ)	人/人/部	166/42/9	170/42/9	164/42/9
	社		スポーツクラブチャレンジ大会	人/回	89/1	89/1	120/1
	社		スポーツ体験DAY	人/回	30/1	30/1	50/1
	社		歩け歩け大会	人/回	83/1	68/1	70/1
	社		体育館整備費	千円	0	7,937	49,272
	社		公園体育施設整備費	千円	34,007	1,980	1,779
	社		体育備品購入	千円	1,947	3,961	1,320
	社		社会体育全国大会等出場補助	千円/件	600/1	1,585/4	457/4
	社		体育優秀選手表彰	人	77	53	62

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少	
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない	
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	

総合評価	B
判定説明及び考察	スポーツ教室やイベントは、参加者が横ばいではあるが継続して実施できた。「スポーツ祭」は熱中症対策として総合体育館で実施した。今後も、指定管理者と連携し、利用者を増加させ、町民の体力向上、健康増進を図る。 施設整備の面では、体育館を中心に整備した。また、老朽化による計画的な修繕が必要となっているので、指定管理者と協議しながら進めていく。

事業の方向性	評価委員会意見	
■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(1) 人権教育の充実	シート番号	13
		SDGs目標番号	1, 2, 4, 5, 10, 16
第3期計画 基本目標	4 こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条 中項番号	5, 12, 18

事業の目的	一人ひとりの町民が人権問題への理解を深め、人権が守られる社会をつくるために、人権意識の向上を目指す。
事 業 内 容	全町的な人権教育の推進
事業の対象	全町民

事業コスト

区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
事 業 費	(千円)	891	1,834	2,435
内一般財源	(千円)	891	1,834	2,435

事業実績・成果

担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社		松茂町人権問題講演会	人/回	56/1	66/1	75/1
社	※	松茂町人権の集い	人/回	162/1	114/1	98/1
社		人権教育推進協議会　補助金	千円	200	800	1,400
社		企業・職域合同人権啓発研修会	人/回	182/5	160/5	174/5
社		各種人権教育講座　PTA対象	人/回	43/2	21/1	61/2
		生涯学習講座受講生	人/回	72/1	68/1	70/1
社		各種人権教育研修・大会等参加	人/回	40/11	56/11	52/11
社		人権啓発・広報活動　広報まつしげ	部/回	43,200/6	43,200/6	43,200/6
		リーフレット折込	部/回	7,500/1	7,500/1	7,500/1
		人権啓発冊子折込	部/回	6,800/1	6,800/1	6,800/1

事業の評価

必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	町主催の講演会や研修会を、講座ごとにテーマを決め開催することができた。広報活動については例年並みとなっている。今後については、多様化する人権問題について、より幅広く正しい知識を身につけ、伝えていけるよう、さらに工夫しながらイベントや研修を行っていく。

事業の方向性	■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する	評価委員会意見	**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(2) 環境教育の充実	シート番号	14
		SDGs目標番号	4, 6, 7, 11, 12, 13, 14, 15
第3期計画 基本目標	4 こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条 中項番号	5, 19

事業の目的	すべての町民が環境に対して高い意識、関心を持てるよう、環境教育の推進を図る。
事 業 内 容	環境教育の推進、「新 学校版ISO」への移行、環境教育における地域の連携、県の環境教育との連携強化
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事 業 費 (千円)	163	155	177
	内一般財源 (千円)	163	155	168

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		子ども自然探検隊　野鳥観察	人/回	7/1	中止	11/1
			海辺の生き物	人/回	中止	中止	31/1
			水路の生き物	人/回	中止	中止	中止
			冬の野草と七草がゆ体験	人/回	中止	13/1	7/1
			天文教室	人/回	46/2	50/2	47/2
	図		雑誌リサイクル	冊/人/日	1,000/281/48	1,064/264/49	1,105/266/48
	学		県等他機関との連携　清掃活動	校	4	4	4

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少	
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない	
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	

総合評価	B
判定説明及び考察	子ども自然探検隊では、天候で実施中止が続いていた教室が再開できた。「冬の野草教室」は「七草がゆ体験」のみではあったが実施できた。自然と触れあう機会として高いニーズがあるので、開催日を工夫して継続していく。図書館では廃棄雑誌を無料提供しており、ニーズがありイベントとしても定着している。資源活用の観点からも継続していく。また、ペットボトルの(ボトルtoボトル)水平リサイクルに関する協定を締結しているサントリーより専門の講師を招き、松茂小学校と喜来小学校の4年生を対象に『SDGs for マツシゲプロジェクト』と題し、ペットボトルのリサイクルについての出前授業を実施した。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(3) 生涯学習活動の充実	シート番号	15
		SDGs目標番号	3, 4, 8, 10, 11
第3期計画基本目標	4 こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条中項番号	5, 19

事業の目的	町民が心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、活力に満ちた地域社会を形成するため、だれもが学べる学習環境の整備を図り、自発的な学習活動への支援に努める。
事業内容	社会教育事業の充実、情報発信の充実、拠点施設の機能充実、文化・芸術活動の推進、松茂町子どもの読書活動推進計画(第4次)の推進
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	(千円)	13,101	11,381	11,059
	内一般財源	(千円)	12,601	10,881	10,559

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		生涯学習講座【通年】　英会話・趣味・生活	人/回	1756/126	1,528/124	1,861/124
	図		図書館講座【通年】　大学連携講座	人/回	78/5	71/4	57/3
	図		図書館講座【単発】　教養等	人/回	85/5	87/5	72/5
	歴		資料館講座　古文書	人/回	80/20	75/20	15/3
	図		読書振興行事　原画展	日/回	30/1	0	―
	図		図書館　入館者数	人	75,993	73,782	73,124
			登録者数(個人累計)	人	12898	13,104	13,293
			個人貸出数	冊	82809	77,164	74,327
	歴		歴史民俗資料館　入館者数	人	10,664	9,249	9,516
	図		図書館広報活動　館外向・新刊案内	回	59	59	54
	図		館報「ふみよむひろば」発行	冊/回	1,400/1	1,300/1	1,150/1
	図	※	ブックスタート事業	人	102	75	70
	社		総合会館整備費	千円	3,329	179	1,652
	歴		資料館施設整備費	千円	917	1,811	868
	図		図書館施設整備費	千円	798	1,313	551
	図		図書館購入資料　図書	千円/冊	5,517/3,427	5,518/3,069	5,402/2,842
			視聴覚資料	千円/点	477/57	481/54	427/47
			逐次刊行物	千円/冊	1,187/1,611	1,257/1,625	1,249/1,538
	図		図書館所蔵資料　図書	冊	144,099	146304	148,568
			視聴覚資料	点	2,387	2,437	2,475
	図	※	子どもの読書推進連絡会議(第5次計画策定会議含む)	回	1	1	1(書面開催)

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少	
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない	
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	

総合評価	B
判定説明及び考察	総合会館において生涯学習講座を開催し、施設維持のためトイレや空調の修繕、非常灯の交換を行った。生涯学習講座の受講生数は人気講座で増加しており、今後もニーズのある講座の検討に努め、内容を充実させていく。図書館では、人口減少や読書離れにより利用者数は減少傾向にあるが、蔵書を充実させ館内整備し、生涯学習の場としての環境整備を図っている。行事や展示などで来館者を今後も増やしていく工夫を継続していく。資料館は、今後も誰かに勧めたくなる魅力的な空間づくりを追求し、より多くの来館者を呼び込むための取り組みを推進する。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(4) 生涯学習団体の育成	シート番号	16
		SDGs目標番号	4, 9, 10, 11
第3期計画 基本目標	4 こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条 中項番号	12, 13

事業の目的	生涯学習団体の自主的な活動を支援することを目的とする。
事業内容	指導者・リーダーの育成・確保、活力とやすらぎのあるまちづくりの推進、大学との連携強化、人権教育体制の充実
事業の対象	町内生涯学習団体

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	1,786	971	1,711
	内一般財源 (千円)	1,786	971	1,711

事業実績・成果	担当	再掲	名称		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		文化協会	補助金	千円	1,000	400	1,000
				加入状況	人/団体	247/31	242/29	223/27
	社		花づくり会	補助金	千円	270	105	270
				加入状況	人	17	16	13
	社		子ども会連合会	補助金	千円	300	250	225
				加入状況	人/団体	108/6	41/4	47/4
	歴		ふれあい座	補助金	千円	144	144	144
				加入状況	人	10	9	7
	歴		二上がり音頭保存会	補助金	千円	72	72	72
				加入状況	人	30	29	28

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	■ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	文化協会において会員の減少、子ども会も減少傾向にある。高齢化が進む団体が多く、会員数の新規獲得による維持に一層の努力が必要である。 ふれあい座は、担い手の高齢化が進む中で、新たな後継者の獲得が急務となっており、貴重な伝統文化を将来へ継承していくため、継続的な支援が不可欠である。二上り音頭保存会に関しては、地域と共に伝統文化の継承として長期的な支援を継続する。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価** **のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名 (基本施策)	(5) 青少年活動の推進	シート番号	17
		SDGs目標番号	4, 10, 11, 17
第3期計画 基本目標	4 こころ豊かな人間性の育成	地教行法21条 中項番号	12

事業の目的	子どもを対象とした体験型学習の充実、地域ぐるみの健全育成活動の推進により、子どもたちがこころ豊かに成長することを目指す。
事業内容	地域ぐるみの健全育成運動の展開、生涯学習における人権教育の推進、子ども体験活動の充実、読書週間の定着
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	950	728	924
	内一般財源 (千円)	787	687	848

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		青少年健全育成町民会議　補助金	千円	500	300	500
	社	※	青少年非行防止決起大会	人/回	131/1	124/1	113/1
	社		「少年の日」記念大会	人/回	115/1	120/1	119/1
	社		子どもカルチャー教室	人/回	268/54	252/45	225/44
	社		親子ものづくり教室	人/回	196/10	191/10	154/12
	社	※	子ども自然探検隊	人/回	53/3	63/3	89/4
	社		ボーイスカウト板野第1団　補助金	千円	45	45	0
			加入状況	人	7	5	0

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少	
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない	
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない	

総合評価	B
判定説明及び考察	「少年の日」は中学2年生を対象に記念講演と大会宣言を行った。青少年非行防止決起大会は、子どもたちの力強い意見発表、講演と大会宣言を行った。いずれも子どもたちの自立心や取り巻く地域の大人への意識に影響力があるため継続していく。 子どもの体験活動は年によって参加人数に変動はあるが、どの事業も高いニーズがあると考えている。指導者の高齢化という課題はあるが、町内に限らず県域における人材バンクとの連携を強化し人材の確保に努める。ボーイスカウトは、指導者は確保されているものの、少子化の影響により加入者が減少したため解散することとなった。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価 のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(1) 家庭・地域・学校・教育委員会の連携	シート番号	18
		SDGs目標番号	3, 4, 17
第3期計画基本目標	5 松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条中項番号	2, 7, 9, 12, 18

事業の目的	家庭・地域・学校・教育委員会が連携を密にすることにより、子どもを含めた全町民が地元への愛着や誇りを持ち、地域の発展に寄与するよう、地域ぐるみの活動を推進する。
事業内容	施設開放の推進、学校支援地域本部の機能強化、家庭教育の充実、「早寝早起き朝ごはん運動」の推進、PTAとの連携・協働の推進、郷土に誇りを感じる教育の推進、社会教育施設と学校教育施設との連携の充実、不審者対策の推進、子ども体験活動の充実
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費（千円）	2,573	2,747	2,499
	内一般財源（千円）	2,260	2,633	2,347

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社		学校施設開放　体育館	施設	4	4	4
			グラウンド	施設	4	4	4
	社		コミュニティスクール（学校運営協議会）	人/回	45/2	48/2	41/2
	社		学校地域教育推進協議会	人/回	46/2	－	－
	社		人材バンク登録者数	人/団体	68/24	73/24	77/24
	社		学校支援ボランティア登録者数	人	82	78	89
	図		図書館業務支援ボランティア登録者数	人	47	44	31
	給	※	学校食育推進委員会	回	1	2	2
	社		青少年健全育成啓発チラシ	回	2	2	2
	社		家庭教育学級	人/回	中止	66/1	56/1
	社		花の苗の無料配布	人/回	496/2	398/2	481/2
	社		PTA連絡協議会補助金	千円	115	115	115
	社	※	子ども自然探検隊	人/回	53/3	63/3	89/4
	社	※	子どもカルチャー教室	人/回	268/54	252/45	225/44
	社	※	親子ものづくり教室	人/回	196/10	191/10	154/12
	図	※	子どもの読書推進連絡会議（第5次計画策定会議含む）	人/回	13/1	13/1	13／1（書面）
	図		図書館連携型展示・作品展等	回	6	2	2
	図		図書館学校等団体貸出冊数	冊/団体	3730/31	2,772/24	2,805/22
	歴		小・中学校総合学習支援　人形浄瑠璃出前公演	回	―	―	1
			藍染め体験	人/校	136/3	133/3	107/3
			社会科見学	回	町内3	町内/4	町内/2
			出前授業	回	2	1	2
	幼		幼稚園地域連携事業　幼稚園見学会等	人/日	47/3	292/4	252／5
	学		下校時安全パトロール員	時間	530	522	501
	学		スクールガードリーダー指導	回	各小学校6回	0	0

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）においては、学校と地域が連携して子ども達を育てるための活動を行っており、学校地域教育推進協議会を統合することで活動が一体化し、さらなる充実を目指している。図書館では、R8年度は了承を得られた学校については図書館見学の様子をパネル展示にする等し、子どもの学習の様子を地域の人にも知ってもらう機会をつくる。資料館では、地域文化の継承と学校教育への寄与を目指し、卒業藍染の支援、社会科見学の受け入れ、及び社会科の出前授業を継続的に展開した。今後もこれらの教育連携事業を継承・推進していく。

事業の方向性	評価委員会意見	
■ さらに重点化する □ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(2) 文化・芸術活動の推進	シート番号	19
		SDGs目標番号	4
第3期計画 基本目標	5 松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条 中項番号	12, 18

事業の目的	個性あふれる文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を推進する。
事業内容	文化団体の支援、活動の場の提供、文芸活動の推進、発表の場の提供、学校における文化・芸術活動の推進、学校の部活動の活性化、文化・芸術に関わる講座・教室の充実
事業の対象	全町民

事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 (千円)	3,797	1,896	2,246
	内一般財源 (千円)	3,184	1,361	1,798

事業実績・成果	担当	再掲	名称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	社	※	文化協会 補助金	千円	1,000	400	1,000
			加入状況	人/団体	247/31	242/29	223/27
	社		社会教育施設貸出 総合会館	件	857	859	867
	歴		資料館	件	435/338	406/389	291
	社		文化活動に係る全国大会等出場補助	件	0	0	0
	社		松茂町文化祭 作品出展者数	人/団体	127/15	193/32	198/24
			芸能出演者数	人/団体	37/7	55/8	49/8
	社		小・中連合音楽会(観覧者数)	人	150	150	150
	社	※	子どもカルチャー教室 茶道	人/回	53/18	44/9	56/9
			華道	人/回	50/9	54/9	50/9
			百人一首	人/回	55/9	42/9	37/9
	歴		まつしげ人形劇フェスティバル	人/日	646/9	451/8	621/9
	歴		藍染め体験(一般・町内外)	人/回	544/98	207/50	401/69
			(わくわく藍染め体験)	人/日	34/3	33/7	98/8
	歴		藍染め教室	人/回	―	―	―
	歴		陶芸教室・絵付け体験(一般・子ども)	人/回	234/21	153/21	117/12
	社		広報活動(文化協会)	回	0	0	0
	図	※	館報「ふみよむひろば」発行	冊/回	1,400/1	1,300/1	1,150/1

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	■ Ⓐ増加している	□ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	■ Ⓐ十分寄与している	□ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	文化祭が継続して実施できるが、会員不足、会員の高齢化等は大きな課題のままである。今後の会員数増加に努める。子どもカルチャー教室については、長年の継続が実を結び、少子化の影響を受けつつも、定着して実施ができている。資料館としては、引き続きSNS等を活用し、当館の魅力や親しみやすさを発信することで、新たな来館者の獲得と来館動機の向上を図る。図書館の館報は、一般の文芸作品発表の場としてのニーズは減少しているが、図書館の活動報告や児童生徒の優秀作品発表の場としては役割を果たしている。必要性を踏まえ発行部数等を検討していく。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**

令和7年度 事業点検・評価シート

事務事業名（基本施策）	(2) 文化財保護・伝統文化の継承	シート番号	20
		SDGs目標番号	4
第3期計画基本目標	5 松茂町を愛するこころの育成	地教行法21条中項番号	14

事業の目的	歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館を拠点に本町の貴重な文化財や歴史遺産等の調査・保護を図り、地域に根ざした伝統文化の継承・普及を進める
事業内容	文化財・伝統文化の保護・継承と埋蔵文化財行政の充実、天然記念物（自然環境）学習の推進
事業の対象	全町民

事業コスト	区　分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費（千円）	3,721	3,838	3,868
	内一般財源（千円）	3,721	3,838	3,868

事業実績・成果	担当	再掲	名　称	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	歴		寄贈文化財資料（主なもの）	件	0	0	2
	歴		燻蒸委託業務	千円	2,729	2904	2,904
	歴		収蔵資料の特別利用申請	件	2	3	3
	歴		現代資料（町誌関連）収集	件	－	1	1
	歴		町内史料調査及び実地調査（旧村役人宅寄贈資料整理）	件	1	1	3
	歴		学芸員のテーマ研究	件	4	2	8
	歴	※	資料館入館者数	人	10,664	9,249	9,516
	歴		資料館広報活動	回	24	24	138
	歴		企画展示開催	回	6	1月4日	9
	歴		歴史（郷土史）をテーマにした講演・講座	人/回	30/1	22/1	45/1
	歴		文化財パトロール	回	5	5	0
	歴	※	ふれあい座助成　（国指定重要無形民俗文化財）	千円	144	144	144
	歴	※	二上り音頭助成　　（町指定無形民俗文化財）	千円	72	72	72
	歴		埋蔵文化財行政事務委託	千円	676	718	749
	歴		無形文化財等（ふれあい座）上演事業	人/回	194/9	211/9	661/16
	幼		阿波踊り教室	人	49	32	64

事業の評価				
必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)				
	□ Ⓐ増加している	■ Ⓑ横ばい	□ Ⓒ減少している	□ Ⓓかなり減少
有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)				
	□ Ⓐ十分寄与している	■ Ⓑ概ね寄与している	□ Ⓒ余り寄与していない	□ Ⓓできていない
経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
	□ Ⓐ十分できている	■ Ⓑできている	□ Ⓒ余りできていない	□ Ⓓできていない

総合評価	B
判定説明及び考察	情報発信の充実に努めた結果、来館者数は微増ながら堅調な推移である。また、学芸員の増員により調査研究の活動が充実し、調査研究の件数も増加している。ふれあい座の上演事業においても、太夫・三味線を加えた公演を実施するなど内容の充実を図った。今後も、調査研究や展示・公演等の充実と積極的な情報発信を継続し、来館者の増加と魅力向上に努める。

事業の方向性	評価委員会意見	
□ さらに重点化する ■ 現状のまま継続する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止・廃止を検討する		**教育委員会評価のとおりと認める**